

(中間評価)

## 若手先端科学研究者の研究環境改革

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：群馬大学（総括責任者：高田 邦昭）

### プロジェクトの概要

群馬大学における次世代リーダー養成システムのモデルケースとして、学長のリーダーシップの下、医学系研究科、工学研究科等にテニユアトラック制度による新たな研究・教育人材育成システムを確立する。そのために必要なテニユアポストを予め用意し、国際公募および学外者を交えた公平性と透明性の高い審査システムによって、有為な人材をテニユアトラック教員として採用する。さらに、研究資金及びスペース面の援助、教育・研究面以外の負担の軽減、研究の独立性・自立性を尊重しつつ支援を行うメンター・アドバイザー制等の支援体制により、高いテニユア獲得率を実現する。本事業終了時には、テニユアトラック制度の全学への拡大を目指す。

#### (1) 評価結果

総合評価	国際公募・選考・業績評価	人事養成システム改革 (制度設計に基づく実施内容・実績)	人事養成システム改革 (制度設計に対するマネジメント)	今後の進め方における取組
A	a	a	a	b

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

#### (2) 評価コメント

リサーチ・ユニバーシティの構築を目指し、優秀な若手研究者に先端的な研究を発展させる機会を与え、テニユアトラック若手研究者（以下「TT 若手」という。）の自由な発想が活かされる教育研究システムを実現するという構想の下、国際公募と機関外研究者を含む公正な審査によって優秀な TT 若手を採用し、十分な研究環境と支援体制を整備して TT 若手の育成システムを構築している。さらに、TT 若手の高い研究力と優れた成果が、他の教員の研究の活性化にもつながっていることは評価できる。人文科学系を含む他部局へのテニユアトラック制（以下「TT 制」という。）の展開が検討され、全学的な TT 制の規程の制定も進んでおり、人文系を含む他部局への TT 制の拡大を期待する。

- ・国際公募・選考・業績評価：国際公募と選考方法について、機関外研究者を含む公正な審査によって多数の応募者から女性及び外国籍研究者を含む 10 名の優秀な TT 若手を採用している。また、TT 若手の業績評価基準が明確にされていることも評価できる。
- ・制度設計に基づく実施内容・実績：上質の研究環境の整備とメンター及びアドバイザーの 2

人制による人的支援システムを制度化し、海外研究者を顧問に迎えるなどの人材養成システムを構築していることは評価できる。

- **制度設計に対するマネジメント**：学長のリーダーシップの下、外部評価委員会を設置し、事業の点検・評価を行い、PDCA サイクルを機能させようとしていることは評価できる。TT 制が研究リーダー育成に効果を上げていることを分析し、全学展開への取組が進められており、学長のリーダーシップにより更なる制度定着を期待する。
- **今後の進め方における取組**：各部局へ TT 制についての意識改革を進めていることは評価できる。しかしながら、全学への理解を深めることによって、各部局での TT 制の制度設計をより具体的に進め、当面の年 1 名採用という計画に加え、全部局に TT 制による人材養成システムを定着させるという機関の目標の実現に向けた積極的な取組が必要である。